

ご長寿おめでとうございます

鈴木繁二さんが満100歳に

1月2日に満100歳の誕生日を迎えられた鈴木繁二さん(土崎南部)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。鈴木さんは、8人きょうだいの次男として千屋村に生まれ、こども3人、孫8人、ひ孫11人に恵まれました。テレビでの相撲観戦や甘い食べ物(あんこ)がお気に入りだそうです。町長から「おめでとうございます。ご自宅で元気に100歳を迎えられることはすばらしいことです」とお祝いの言葉をかけられると「ありがとうございます」と笑顔で答えられました。これからもお身体を大切に、元気で過ごしてください。



■(中央) 鈴木繁二さん

選挙への理解を深める

選挙啓発出前講座

美郷町選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会が主催する「選挙啓発出前講座」が、12月17日に六郷高校で開催されました。本講座は選挙をより身近に感じてもらうことを目的とし、同校3年生52名が参加しました。講座では選挙制度について学んだほか、架空の町の町長を決める模擬投票が行われ、生徒たちは投票と開票事務を体験しました。



相撲道への精進を誓う

美郷町相撲連盟新年初稽古

美郷町相撲連盟(伊藤藤草会長)が主催する新春恒例の初稽古が、1月1日に美郷中学校相撲道場で行われ、美郷相撲スポーツ少年団や美郷中学校相撲部、そのOBなど合わせて約30名が参加しました。当日は、稽古に先立ち神事を行い、今年一年の精進と安全を祈願。その後、四股踏みやすり足などの基本稽古で体を温め、本番さながらの取組を行いました。力いっぱいぶつかり合う大きな音や掛け声などが会場に響き渡りました。

楽しく練習 めきめき上達

後三年スキー場でスキー教室

町主催のスキー教室が1月11日から13日にかけて後三年スキー場で開催され、町内の小学1・2年生の児童41名が参加しました。昨年は暖冬の影響による雪不足のため、止むなく中止となった同教室でしたが、今年はコンディションが整い、3日間とも晴天に恵まれました。参加した児童たちは美郷町スキー連盟(深沢義一会長)による指導のもと、3日間ですっかり上達し、笑顔いっぱい楽しく斜面を滑っていました。



JAL×美郷連携事業

JAL空育® -折り紙ヒコーキ教室-

「JAL空育®-折り紙ヒコーキ教室-」が1月16日に美郷町総合体育館リリオスで開催され、町内各認定こども園の5歳児が参加しました。教室では、折り紙ヒコーキ認定指導員の資格をもつJALの職員が折り方や飛ばし方を教えました。紙ヒコーキを完成させた園児たちは、フラフープの穴に飛ばして入れるゲームや、友達とどちらが遠くまで飛ばすかを競うなど、目を輝かせながら紙ヒコーキを飛ばしていました。



■なかよし園



■わくわく園



■すこやか園

MISATOPICS

町の話題



美郷雪華を利用したスイーツが 開発・販売されました

美郷雪華を利用したスイーツのお披露目会が、12月13日に名水市場湧太郎「國之譽ホール」で行われました。開発されたスイーツは「美郷雪華チーズケーキ(美郷雪華のラベンダーシロップを使用)」と「美郷雪華マドレーヌ(美郷雪華を使用)」の2つ。開発にあたっては、町地域おこし協力隊の梶原恵美子さん、六郷高校の生徒、梶原さんが前職で交流のあった村川学園東京山手調理師専門学校(東京)の学生らが協力して行いました。

また、このスイーツは12月21日から25日の5日間、ニテコ名水庵Kuraカフェで提供されました。期間中はメニュー開発に携わった六郷高校の生徒が接客体験に挑戦しました。美郷雪華の新たな魅力を伝えることができただけでなく、生徒が一生懸命に取り組む姿に来店した方の笑顔が生まれ、今回の体験を通してコミュニケーションに自信をつけることができました。食べた方からは「とても食べやすく、おいしい」「味と香りの両方が楽しめる」などの声が聞かれました。



▲スイーツを提供する
六郷高校生



■(左)美郷雪華マドレーヌ
(右)美郷雪華チーズケーキ



▲町消防出初式での松田町長

昨年末の話ですが、大学時代のサークルメンバーで構成しているLINEグループに、年末だよ全員集合の号令が掛かりました。これまで会合に参加できなかった友人が、久しぶりにみんなに会いたい趣旨で企画されたようです。私は残念ながら都合が悪く参加できませんでしたが、ずいぶん盛り上がったようです。

かつて、こうした会の情報伝達は紙媒体でした。そのため、出欠の取りまとめも日数が必要だったわけですが、時代は進化。パソコンでインターネットを使えるようになってからはEメールに、携帯

電話が普及してからはLINE等のSNSツールを使うようになり、結果、情報伝達は迅速化が図られてきております。

もちろん町でも、こうした進化を踏まえた情報伝達の迅速化や多様化には対応してきております。全世帯配布の広報美郷、広報美郷お知らせ版は引き続き紙媒体でお届けしながら、昨年度からは登録者にSNSツールの町公式LINEを使ってお届けしてきているところです。また防災情報については、防災行政無線や緊急告知FMラジオでの音声伝達に加え、登録者には防災メールでもお伝えしてきております。なお、町公式LINEと防災メールは事前登録が必要ですので、ご希望の方はどうかご登録をお願いいたします。

そして来年度、町では新たにテレビを使った情報伝達も行

COLUMN
WINDS

コラム

風

伝える

美郷町長 松田 知己

う予定です。データ放送を利用してお届けするもので、必要な時に直ちに情報をお届けでき、加えて維持費も町の財布に優しいシステムです。一方、多様化している伝達手段は、この機会に少し整理したいと思います。具体的には、広報美郷お知らせ版と緊急告知FMラジオは、今年度で廃止したいと思います。テレビシステムでカバーできるからですが、その結果、行政協力員の負担は軽減され、耐用年数到来のラジオ更新費用は不要となります。

なお、緊急告知FMラジオは各世帯に無償譲渡する予定で、通常ラジオとしてご利用いただきたいところです。時代在即した変化としてご理解をお願いいたします。

世の中は常に変化です。時間経過に伴い、物も人も制度も変化していきます。もちろん、その変化は良い方向であらねばなりません。実は…私の腹回りもこの年末年始で変化です。ズボンがきつい方向に変化ですが、これは良い方向でしょうか。笑